



めざす子ども像…

豊かな心で互いの違いや多様性を認め合える子ども  
自分の考えや良さを言える子ども  
自分自身でしっかり考えて行動できる子ども



## 大切な命を守るために



例年よりおよそ3週間早く梅雨を迎えた今年…。雨の季節は野山の植物にとって、あるいは農業を営む方々にとってとても大切なものではありませんが、集中豪雨による災害が毎年のように日本各地で発生している昨今の状況を考えると、一度に降りすぎないでほしい、あまり梅雨が長引かないでほしいという気持ちにさせられてしまいます。そして、被災地の様子を伝える様々な報道を目にする度に、子どもたちには、いざというときに自分の命を守れる賢さを身につけてほしいと思わずにはいられません。

災害が発生したとき自分の命を守るために必要なこととは一体何でしょうか？もちろん避難場所・避難ルートの確認、防災グッズの購入、水や食料の備蓄…といった直接的な準備・対策も大切ですが、それと同時に、普段の生活の中で、次のようなことがきちんとできるようにしておくことも大事なのではないかと思います。

- 人の話を落ち着いて聞くこと → 正しい情報を得た上で避難することにつながる。  
 周りをよく見て行動すること → 危険箇所に気づき、回避することにつながる。  
 誰とでも仲よく接すること → 減災・復旧に向けて、協力し合うことにつながる。

これらは学校生活を通してどの子にも身につけてほしい基本的な習慣・行動ですが、それが「できるか」「できないか」ということが、いざというときに生死を分けるきっかけになってしまうかもしれません。“あたりまえ”のことが当たり前になること…それは非常時、緊急時にこそ求められる、生き抜くための大切な資質・能力です。私たちは、大内小の全ての子どもたちに、“あたりまえ”のことをしっかりと実践できる力をつけてほしいと願っています。

- ☆これから本格的な雨の季節を迎えます。ご家庭でも次の内容についてご指導ください。
- ・増水した河川（用水路等も含む）には絶対に近づかない。雨が上がった後も、数日は水位が高く、流れが速い状態が続くため、十分注意すること。
  - ・水面は穏やかに見えても、水中は流れが速く、河床も複雑で滑りやすいということ。  
 ※ 水辺の事故は大人が目を離した際に起こることが多いそうです。離れた場所で見守っていても、不意に溺れると、姿を見失います。釣りや川遊び等をするときは、大人が常に一緒に行動することが大切です。
- ☆米づくりをされる農家の方にとって大切な時期です。次の内容についてご指導ください。
- ・水田のあぜ道や用水路で遊ばないこと。特に、石を投げ込んだり、水路の仕切り板を抜いたりするなどのいたずらは、農家の方に多大な損害を与えることがあるので、絶対にしないこと。

## 6月の目標「時間を守って行動します」(『あたりまえ10箇条』・第4条)



6月10日は『時の記念日』です。自分の時間の使い方についてふり返るとともに、時間の大切さについて改めて考えるきっかけにしてほしいと思います。

“Time waits for no one.” “歳月人を待たず”…与えられた時間には限りがあるということに気づくことができれば、自分の時間も、そして周りの人の時間も大切にできるはずです。

## 今こそ、みんなのためにがんばるとき



依然として新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。少しでも感染のリスクを減らすために、感染防止対策について、今一度お子様と確認をお願いします。

- ・3つの密を避ける。 ・屋内で過ごすときや人と会うときはマスクを着ける。
- ・こまめに手を洗う。 ・特別な用事がないときは人が集まるところには行かない。
- ・友だちと一緒に遊ぶときは、屋外または換気が十分にできている部屋で。